

家庭の幸せいっぱい

家庭がいつも幸せいっぱいであってほしいとだれもが願う。幸せな家庭に育つ子どもは自分を大切にし、幸せになる。

しかし、どの家庭も幸せかといえば、そうとは限らない。幸せをあまり感じない家庭、不幸せだと強く感じる家庭もある。

では、どうすれば、幸せな家庭になるのであろうか。

- お家の方が幸せと思う
- 笑いや笑顔がある
- いいところを見つけほめあう
- 家族で楽しく話す、何でも言える
- 家族が喜ぶことをする
- 家族（お父さん、お母さん、兄弟・姉妹、祖父母）を大切にする
- 家族が仲がよい
- おはよう・いってきます・ただいま・おやすみなさいなどの挨拶ができる
- みんながいつも明るく・元気である
- いろいろな人と仲良くできる
- 辛いことがあってもくよくよしない
- ありがとう・がんばろう・だいじょうぶだよ などの言葉をよく使う
- 家族でいっしょに遊ぶ

これらのことをできるところから、はじめるとみんなに幸せが近づいてくる。

皆さんも少し意識して、自分の家庭を見直してみませんか。意識すれば、行動・言動が変わり、幸せいっぱいの家庭に必ずなれます。

幸せは、広がる

幸せな家庭に、幸せな子は育つ

幸せの意識が行動・言動を変える